梓の屋のしらんまぶつくみのはしらかゝんくのあぢ
やうきしみの萩てうちよのきて此いつくころだ
おつしゃのなとこえつまて呉秋のこわとのころも
く田まつゞひてみちてきりはつかまくえん
のそるめでたき北斎のたきれをとやしよるき
このよいまうたよめるくまくるりんたわらゝさ
ものさいわいよいつまろのとのたはしりまき
まうりわざしちこころ漫画とぞうけし
あらわ本まんうて梓路らんうはゞ人のめて

The Hokusai Manga
N. 5.

五編

んがまうにおいぞいつこゝろあそびくるよいつ
の巻く成りてかのおつしわりかずふめるたびごと
のありいこゝろをおぼずひらくそめゝるそは
りにたくみをめるまてつひにまちきわりわるゝを
本草のむしわすてとやふ路つへまむしそらひ
なくるくぢふんのたくしきどえそん人ぞ
おもてにいるかいちつかんかし

六樹園

手置帆負命

天彦狭知命

宮室を画く秘乃事

匠家の流に其秘ある所あまたく漫説する事を
せざれバ尺寸の相違をおそれて古人も
是に詳に画くことをせず適々形を出
すといへども多く蜜画にして俗眼を悦む
ものに己が不知の妄を庇ふ只臨本にまどひ
て古人のあやまりを紙上に引うけ後世の
識を免れざるの旗画を学ぶとして古人を
まなぶべしといふべし

二両儀 三日月星 四四季 五五行
七七星 八八課 九九曜

この數を眼前の形其長短に引あてて考る
ときハ宮殿樓閣といへども画るに安かるべし

黒 白 黄 赤 青
水 金 土 火 木
朱雀 白虎 青竜 玄武
両儀 両
五行 三光 両儀
乾 兌 離 震 巽 坎 艮 坤

丸太とりゐ
日吉花表
四足鳥居
柱なか中ヵすぼりくるもあり
二足八柱三ふことぶ
丸小同じ
三輪花表

後世の製作定法いふ也

木地也

銅花表

製作（せいさく）面白きなれど
写すは古製多かや
後世の作意ゟ来
余へずこも道の
わしへをまうり

笠木の木口なり
天丸く地平かなるなり

同く木地
けづり立なるえ

鐘楼一

此処

家根

製作致ゑ有べし
次の編ふ図す

鐘樓之家根

其二

古鐘
生滅々已
是生滅法
寂滅爲樂
四句之文刹鬼
諸行無常

傅大士（ふだいし）

普建（ふけん）

一切経を見やすからしめんと
一柱八面の輪蔵を作り
末世に残しおく

大建元年四月廿七日
本州に遷化

普成（ふじやう）

輪蔵ノ内

二

天蓋

臺

此処やねん
経堂のやねの
三
輪蔵ハ脇正面ニ同じ
製作同じといへども丁致ゆへ次の編に譲す

四

次の丁にや祢を隠す紙中おさまへ大小高まるべし

輪蔵外廻り之正面之紙中せまき故かくとりき一下間をあらはす

五
輪藏ノ家根
のきのすみく
つくあり
左右とも
同じけれバ
りやくす

寺門（ちもん）ノ一

北斎漫画五編
摶雅三位
其二
塀

中納言行平
安部仲麿

伊賀局
藤原忠文

柿本貴僧正
藤原實方

てんぱいざん
天拝山

くすのきまさしげ
楠正成

平正門
老臣公連
力士
力拔競

守屋大臣
もりやのおとゞ
西行法師
さいぎやうほうし
山邊赤人
やまべのあかひと
御息所
みやすどころ

大友真鳥
兼道
大塔宮
文屋康秀
源頼朝

天鈿女命
あまのうずめのみこと
猨田彦太神
さるだひこたいじん

三尊窟（さんぞんくつ）

摩竭
飢竭

禪宗之伽藍神

大元之像

尾張東壁堂藏板目録

名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎

書名	画	冊数	書名	冊数
北齋漫画	北齋画	全十冊	光琳漫画	全一冊
商人鑑	同画	全一冊	北雲漫画	全一冊
北齋画式	同画	全一冊	文鳳麁画	全一冊
北齋狂画	同画	全一冊	蕙齋麁画	全一冊
繪本両筆	同画	全一冊	月樵麁画	全一冊
戴斗画譜	同画	全一冊	狂画苑	全一冊

By Hokusai
date bunka No.19/14

三體画譜　同画　全一冊　同　絵本孝經　全二冊

一筆画譜　同画　全一冊　同　嘲山科　全五冊

名家画譜　全三冊　同　春の錦　全二冊

福善齋画譜　全五冊　同　小波櫻　全一冊

豊國画譜　全五冊　同　大江山　全一冊

豊國ゑ玉筆　全一冊　同　曽我物語　全一冊

英泉画史　全一冊　同　咲分勇者　全一冊

京都書林　堀川通　伏見屋藤右衛門

大坂書林　心齋橋通　柏原屋與左衛門
同　同　清右衛門
同　河内屋木兵衛
同　敦賀屋九兵衛

東都書林　糀町四丁目　角丸屋甚助
日本橋砥石店　大坂屋茂吉
同　新右衛門丁　前川六左衛門

尾陽書林　名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎